

科目名 成人看護学援助論Ⅱ（1） 循環器	授業担当者 清水 有香	所属 中通高等看護学院	
開講時期：中期～後期	単位数：1単位	時間数：30時間（循環器12時間）	
授業の目的 循環機能障害をもつ対象を理解し、症状・治療に応じた看護ができる能力を養う。			
授業の概要 心臓と血管で構成される循環器系は全身の血液循環を担っており、呼吸器系とも密接な機能をもつなど、生命活動の根幹である。その機能低下や障害は、生命の危機をもたらすが、生命の危機的な状況を脱しても、身体的・精神的・社会的にさまざまな問題を引き起こす。また、循環機能障害は、日常生活習慣上に発症の危険因子があることが多く、寛解と悪化を繰り返し進行し、合併症を引き起こしやすいため、生涯にわたる正しい自己管理行動が重要となる。循環機能障害をもつ対象の身体的・精神的・社会的問題が軽減し、再発や進行を予防しながら、QOLを維持できるようにするための看護について学習する。			
受講上の注意・事前学習の内容 構造と機能は、疾患及び症状の発生機序と関連付けて理解を深めること。教科書等をあらかじめ見て、学習する内容に関してイメージできていることが望ましい。また、提示された資料に基づき事前自己学習し、必要時資料は印刷して事前に準備すること。			
授業回数	学習内容	方法	備考
1	循環器の構造と機能	講義	
2	冠血流障害(虚血性心疾患)患者の看護① ・狭心症と心筋梗塞における看護	講義	
3	冠血流障害(虚血性心疾患)患者の看護② ・心臓リハビリテーション ・心臓カテーテル検査・治療を受ける患者の看護	講義	
4	心不全患者の看護① ・左心不全と右心不全の主要な症状と看護	講義	
5	心不全患者の看護② ・急性心不全と慢性心不全における看護	講義	
6	ペースメーカー植え込み術を受ける患者の看護 ・開心術を受ける患者の看護	講義	
	試験		
テキスト 系統看護学講座 専門 循環器 成人看護学 3 医学書院			
参考書・指定図書 看護がみえる vol.3 フィジカルアセスメント 第1版 メディックメディア ブックライブラリー 根拠と急変対応からみたフィジカルアセスメント 医学書院			
評価の方法 筆記試験。成人看護援助論Ⅱ 100点満点中 40点			

*この科目は実務経験のある教員による科目となります

科目名 成人看護援助論Ⅱ（2） 呼吸器	授業担当者 佐々木 正吾	所属 秋田県立医療療育センター	
開講時期 : 中期～後期	単位数 : 1 単位	時間数 : 30 時間(呼吸器 10 時間)	
授業の目的 呼吸機能障害をもつ対象を理解し、症状・治療に応じた看護ができる能力を養う。			
授業の概要 人間にとって呼吸は代謝を行うために必要な酸素を体内に取り入れ、循環は血液を介して代謝に必要な酸素を全身に運ぶ、生命活動である。呼吸と循環は、人間が生きるための重要な活動であり、停止すると直ちに死に至ってしまうため、生命の源であるといえる。これらの機能が障害されると生命が脅かされ、日常生活活動が困難になり死への不安も強くなりやすい。そのような対象の身体的・精神的・社会的側面を考慮した看護援助について学習する。			
受講上の注意・事前学習の内容 教科書等をあらかじめ見て、事前学習してから講義を受講することが望ましい。			
授業回数	学習内容	方法	備考
1	呼吸機能障害とは 呼吸機能障害を持つ患者の主な検査	講義	
2	気管支喘息患者の看護	講義	
3	慢性閉塞性肺疾患患者の看護	講義	
4	人工呼吸器療法を受ける患者の看護	講義・演習	
5	肺切除術を受ける患者の看護 慢性疾患におけるエンド・オブ・ライフケア	講義	
	試験		
テキスト 系統看護学講座 専門 呼吸器 医学書院			
参考書・指定図書 病気がみえる vol.4 呼吸器 第3版 メディックメディア			
評価の方法 成人看護援助論Ⅱ 100 点満点中の 30 点 筆記試験、授業態度を総合的に評価する。			

*この科目は実務経験のある教員による科目となります

科目名 成人看護援助論Ⅱ（3） 腎・泌尿器	授業担当者 能登谷 恵利子 鎌田 早織	所属 中通総合病院 中通総合病院	
開講時期 : 中期～後期	単位数 : 1 単位	時間数 : 30 時間(腎・泌尿器 8 時間)	
授業の目的 腎・泌尿器機能障害をもつ対象を生活者として理解し、症状、治療に応じた看護ができる能力を養う。			
授業の概要 泌尿器系疾患を持つ人や腎臓病を持つ人の身体面(症状観察、症状マネジメント)、心理面(不安・苦痛への配慮、プライバシー保護、人間の尊厳、羞恥心への配慮)、社会面(患者・家族への援助と多職種連携、社会資源の活用)から全体像を捉え、その人らしい暮らしへつなげる適切な援助について学ぶ。			
受講上の注意・事前学習の内容 教科書等をあらかじめ見て、事前学習してから講義を受講することが望ましい。			
授業回数	学習内容	方法	備考
1	腎・泌尿器科疾患を持つ人の身体面、心理面、社会面、症状のアセスメントと看護	講義	能登谷
2	腎泌尿器科疾患の手術療法を受ける患者のアセスメントと看護	講義	能登谷
3	慢性腎臓病の各段階の特徴と療養生活支援	講義	鎌田
4	腎不全治療(血液透析、腹膜透析、腎移植)を受ける患者の看護	講義	鎌田
	試験		
テキスト 系統看護学講座 専門 腎・泌尿器 医学書院			
参考書・指定図書 透析ハンドブック 医学書院 病気がみえる vol.8 腎・泌尿器 メディックメディア 透析ケア			
評価の方法 筆記試験 成人看護援助論Ⅱ 100 点満点中の 30 点			

*この科目は実務経験のある教員による科目となります